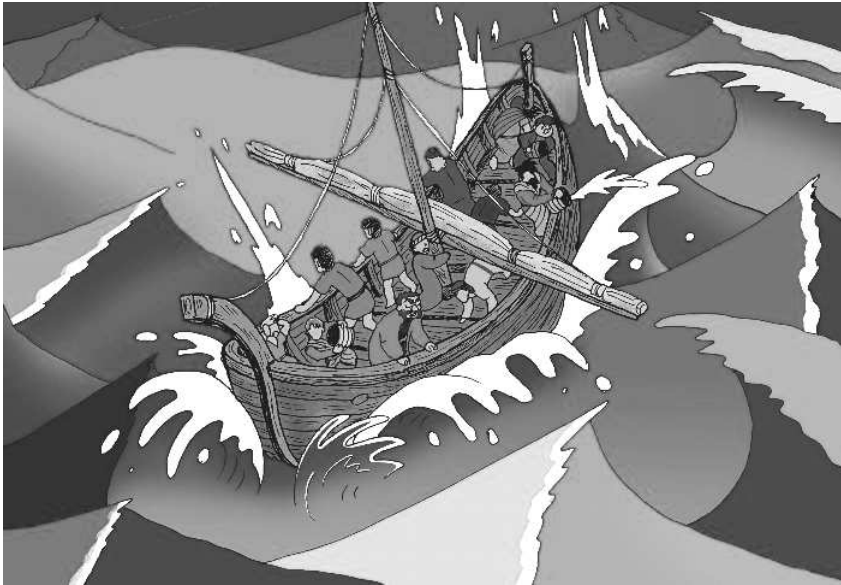


2007年

福島県放送伝道を支える会

# 総会資料



日時；2006年3月6日(火) 午前11時  
場所；ミッション・東北

## 郡山キリスト福音教会

〒963-8862 郡山市菜根3丁目14-3  
024-932-0678

主催；福島県放送伝道を支える会  
事務局；〒960-8691 福島中央郵便局私書箱30号  
024-559-4552  
振替；02190-7-2326  
福島県放送伝道を支える会

# 定期総会プログラム

## 第一部 礼 拝（１１：００～１２：００）

司会 イムヌエル総合伝道団  
イムヌエル福島キリスト教会  
渡邊 多実樹 先生

説教 ミッション東北  
郡山キリスト福音教会  
木田 俊彦 先生

## 第二部 愛餐会（１２：００～１３：００）

司会 日本イエス・キリスト教団  
上森 泰造 先生

## 第三部 総 会（１３：００～１５：００）

司会 ミッション東北  
福島聖書教会  
木田恵嗣 先生

書記 東洋福音宣教会  
内郷キリスト福音教会  
金成孝悟 先生

議題 （１）２００６年 事業報告  
（２）２００６年 会計報告  
（３）２００７年 事業計画  
（４）２００７年 予算審議  
（５）主事職新設に伴う規約改正  
（６）その他の審議

# 福島県放送伝道を支える会 36年の歴史

## 1. 福島県放送伝道を支える会の成立

かつて、「十字架の時間」というラジオ番組をラジオ福島から放送していたが、しばらく放送が途絶えていた。しかし、「福島県の放送を私たちの手で」という大きなビジョンを掲げて、小野芳枝師（東洋福音宣教会）が中心になって、福島県内の諸教会に呼びかけ、1年余りの準備期間を経て、1970年3月29日（日）より、ラジオ福島から「世の光」を放送開始した。放送開始当初の「福島県ラジオ放送準備委員会」には、坂本勝重師（日本イエス・キリスト教団郡山キリスト共同教会）、富岡家一師（東北伝道隊会津聖書教会）、栗原隆師（東洋福音宣教会湯本キリスト福音教会）、グレニス・ジョンズ師（石川荒町キリスト教会）、A・ブルスタード師（東洋福音宣教会）、小野芳枝師（東洋福音宣教会好間キリスト福音教会）が名前を連ねている。当時、毎週日曜日午後7時からの15分番組を放送するために、月額10万円の目標献金額が掲げられていた（内訳；電波料5万円、制作費1万円、フォロアップ費3万円、その他1万円）。また、この働きのために、東洋福音宣教会の宣教団体が、大きな重荷を負ってくださった。ノルウェーの1信徒が、このラジオ放送のために、当時の金額で、35万円をささげて下さったことなどが、過去の資料の中に記録されている。以来、ラジオ放送を通して、1996年まで、27年間、「世の光」を放送した。その間、デイリー世の光とウィークリー世の光の両方を放送する時代を経て、経済的な理由から、デイリー世の光のみ放送と変遷はあった。

## 2. テレビ放送の開始

1993年、野田信光兄（創世グループ取締役）が、PBAを通して、「電波料を献金するから、是非、福島県でテレビ伝道を！」と呼びかけてくださり、当時、福島県放送伝道を支える会の委員長であった原匡邦師（日本イエス・キリスト教団笹谷教会）が中心になって、テレビ伝道の可能性を探った。野田兄弟との話し合いを通して、委員全員に、これは主からのチャレンジであるという確信が与えられ、臨時委員会、協力教会へのアンケート、臨時総会等を経て、1993年11月6日（土）より、福島放送（KFB）より、「ライフ・ライン」放送が開始された。テレビ放送開始時の委員は、原匡邦師（委員長）、後藤正嗣師（会計）、土屋信二師（書記）、富岡家一師、小野芳枝師（フォロアップ）であった。

## 3. ライフ・ライン放送開始から13年の歴史

テレビ放送開始から、3年ほどして、ラジオ放送が経済的に行き詰まり、約120万円ほどの赤字を背負った。その結果、テレビ放送一本に絞ることが決定された。ラジオ放送は激論の末、献金の窓口は残し、献金が200万円を越えた段階で、期間を限定して放送をすることとした。

この決定を踏まえて、2001年1月～2002年3月まで、ウィークリー世の光が放送された。

原匡邦師が委員長の時に、テレビ放送がスタートしたが、その後、鳥井健男師（日本イエス・キリスト教団郡山キリスト共同教会）、後藤正嗣師（保守バプテスト同盟牧羊キリスト教会）と委員長が引き継がれて、現在の福島県放送伝道を支える会が発展してきた。

## ・放送伝道を支える会をリードしてきた方々の証

### 放送伝道のあゆみ

小野 芳枝

「あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見出そう。」  
伝道者の書 11 : 1

放送伝道は、1968年4月、(東洋福音宣教会の)合同教師会席上にて、世の光放送再開を協議し、1969年、第一回浜通準備委員会発足、3月8日中通り地区準備委員会決定、事務所を好間町上好間忽滑57に置き、小野がフォロアップをすることになった。

11月6日、ノルウェーの1信徒が36万円を放送伝道のために献げてくださったのを機に、二百万県民の救いのために、信仰を持って始めようということになり、1970年3月29日(日)復活の日から、羽鳥純二師によるウィークリー世の光(毎週日曜午後11時よりの15分番組)が始まった。それから3年後の1973年1月8日からはデイリー世の光(月~土朝6時40分よりの5分番組)が開始された。

こうして20年の間、一日も休むことなく放送を続けて来ることができたのは、日本の魂を愛してやまない敬愛するノルウェーの兄弟姉妹達の熱い祈りと献金、また、県内外の各教会のおひとりびとりの熱いお祈りと尊い献げもの、一方的な神のあわれみによるものと感謝している。

本当に心から主をほめたたえるとともに、この働きに参加してくださった多くの方々にも筆では書き表すことのできない感謝をささげたい。

しかし、この20年間には、紆余曲折も多くありました。円高と、ノルウェーの経済事情により、1986年には、放送中止もやむを得ないという状態にまで追い込まれました。しかし、あわれみに富み、事をはじめられた神は、途中で捨てるお方ではありませんでした。ウィークリー世の光は中止になりましたが、1年間、太平洋放送協会でも電波料(ママ)を免除して下さり、県内各教会も重荷を持って立ち上がって下さいました。今に至るまで、デイリー世の光を続けることが出来ました。心から主の御名をほめたたえ感謝いたします。

どんなに多くの方々がこの放送を通して慰められ、励まされ、希望を与えられたことでしょう。

カーラジオで、散歩をしながら携帯ラジオで、また、農作業をしながら、炊事をしながら、病床から、多種多様の人々、年齢の方々喜んでお便りを送って下さいました。

精神的に病んでいる人も多く、質問相談、電話相談もありました。また、19回を数える世の光大会は、羽鳥明先生、村上宣道先生、羽鳥純二先生とともに、県内の聴取者の方達と親しくお交わりする良い機会となりました。

約20年の来信総数はのべ16,289通、その中、初めてお便り下さった方は、5,979通ありました。教会出席は男が31人、女45人で、合計76人。受洗した方は、男13人、女18人、合計31人でした。その他に、連絡がなくて受洗した

方がたも多いと存じます。

世の光大会の出席人数は、平均人数で、いわきが106人、郡山147人、福島100人、会津49人、白河(礼拝)54人と言うところです。

1991年から放送時間が午前5時5分からに変更になり、心配していましたが、新しい人々が聞くようになり、感謝しております。

## ライフ・ラインの歩みを振り返る

牧羊キリスト教会牧師・後藤正嗣

1993年5月、PBAから「福島市の野田兄が電波料金をささげるということでテレビ伝道を始めたいとの重荷が与えられているので、支える会で検討していただけないか」との打診が、原委員長にあった。

それを受けて7月19日、PBAからの出席を求めて、臨時委員会を開いた。そして、前向に取り組む野田兄から直接話を聞く、の二点を確認した。

7月23日、原委員長以下委員全員で野田兄を訪ね、懇談の時を持った。結果、「これは主からのチャレンジである」との確信が、委員全員に与えられた。それを受けて協力教会にアンケートを求めることとし、賛成多数であれば9月に臨時総会を行うことにした。アンケートの結果は回答21教会中、賛成18と大多数の教会が賛成してくださった。

9月27日、郡山純福音教会において臨時総会を開いた。出席教会16、PBAから榊原師と関根師が出席された。活発な質疑が行われ、採決の結果、全会一致でテレビ伝道を行うこととなった。そして11月6日(土)、記念すべき第一回の放映が、福島放送から上映された。

野田兄には三年間、電波料金の重荷をもっていたいただいた。その間、少しずつ教会の献金も増えていったが、ラジオとテレビを両立させることは難しかった。テレビの献金が増える一方でラジオの献金が漸減し続け、1996年にはPBAへの未払金が120万円を超える見通しとなった。1995年と96年にわたり二年越しで今後のことを話し合った。容易に結論は出なかった。今まで二十数年間、ラジオのためにあった支える会だったのだから。しかし、このままでは共倒れになることは見えていただけに、辛いけど、どちらか一方を切るしかなかった。アンケートの結果、1996年の総会で4月からラジオを、借金返済が終わり更に200万円の基金ができるまで一時休止することを決議した。苦渋の選択であった。小野先生の「ラジオをやめるなら私もやめます」と、野田兄の「テレビをやめてラジオ一本にしましょう」。この二つの言葉は今も小生の耳に焼き付いている。

この年の5月、テレビCMを始めた。年間100万円を超える収入が見込めたのでずいぶん助かった。また、2001年からは「放送パートナー」という制度も取り入れた。年間100万円の目標には届かないが、それでも毎年確実に50万は超えている。

2004年にPBAへの未払金が三ヶ月になった。これ以上増えたら、ラジオと同じようにやめなければならないピンチである。そこで、借金が限度に来ていることを意識していただくために、返済会計予算を立てた。結果は半分の実績であったが、未払金三ヶ月は変わらなかった。今年こそ、一ヶ月は減らしたいと願っている。

## レスポンス状況

### 2006年 ライフ・ライン来信数

項\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
メールブル	20	24	10	26	31	41	29	16	40	32	19	12	300
(新来信数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(26)
BCC 申込	1	0	1	0	0	0	3	1	1	0	0	1	8
BCC 返信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
質問/相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教会紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
受洗報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救いの報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	6
来信総数	23	26	11	26	31	41	34	17	42	33	19	13	316

月平均2.6通

### 聖書通信講座受講者数

講座名	男性	女性	合計
マルコの福音書	0	2	2
輝いて生きる	0	0	0
主婦向；聖書紹介講座	0	0	0
主婦のためのやさしい聖書の学び	0	2	2
キリストに出会った男	1	1	2
創世記	0	0	0
永遠の生命への道	0	0	0
勝利ある人生目指して	0	2	2
祝福への唯一の道	0	0	0
いちばん大切なこと	0	0	0
実践コース	0	0	0
合計	1	7	8

(2006～12月)

## 地区別来信数 概略

ライフ・ライン							
地区	男	女	合計	地区	男	女	合計
福島市	27	71	98	河沼郡	0	2	2
会津若松市	8	24	32	大沼郡	0	0	0
郡山市	8	28	36	双葉郡	1	7	8
いわき市	16	18	34	岩瀬郡	0	0	0
須賀川市	21	2	23	田村郡	0	7	7
喜多方市	0	11	11	北会津郡	0	0	0
白河市	0	4	4	南会津郡	0	1	1
二本松市	2	3	5	西白河郡	0	5	5
相馬市	0	2	2	東白川郡	0	6	6
原町市	0	5	5	耶麻郡	0	2	2
伊達郡	1	5	6	相馬郡	0	0	0
石川郡	0	0	0	宮城県・他	3	1	4
安達郡	0	1	1	合計	95	220	315

## 年齢別来信者数

総数	男性	女性	計
10代	2	1	3
20代	1	4	5
30代	1	16	17
40代	10	21	31
50代	7	54	61
60代	26	13	39
70代	15	7	22
80代	0	0	0
不明	0	0	0
合計	62	116	178

## メールプル数の移り変わり

年 度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度

来信総数	389	314	290	297	245	300
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

## 2006年 事業報告

◇ ライフ・ライン放映 福島放送テレビより 毎週土曜朝6時～6時30分

◇ 主な出来事

1月24日(火) 委員会(前年度分) 会場:福島聖書教会

2月8日(火) 会計監査

3月7日(火) 総会 会場:郡山キリスト共同教会

3月6日(月) ライフ・ライン ニュース第56号発行

4月7日～9日 ライフ・ラインの集い 講師:榊原 寛 師

音楽ゲスト:岩淵 まこと 氏

4月7日(金) 会場:福島ヒルティ(福島)

4月8日(土) 会場:喜多方信愛キリスト教会(喜多方)

4月9日(日) 礼拝 会場:会津聖書教会(会津)

午後 会場:待望教会(会津)

4月14日～16日 ライフ・ラインの集い 講師:榊原 寛 師

音楽ゲスト:岩淵 まこと 氏

4月14日(金) 会場:原町福祉会館(双相地区)

4月15日(土) 会場:労働福祉会館(いわき地区)

4月16日(日) 礼拝 会場:白河栄光教会(白河)

午後 会場:郡山労働福祉会館(郡山)

5月16日(火) 委員会 会場:福島聖書教会

5月22日(月) ライフ・ライン ニュース第57号発行

7月27日(木) ライフ・ライン ニュース第58号発行

9月19日(火) 委員会 会場:福島聖書教会

12月4日(月) ライフ・ライン ニュース第59号発行

1月23日(火) 委員会 会場:郡山聖書バプテスト教会

2月19日(月) 会計監査



## 2006年度ライフ・ラインのつどい報告

- 1 . 期間 ; 4月7日(金) ~ 9日(日)、14日(金) ~ 16日(日)
- 2 . 講師 ; 榊原 寛 先生 音楽ゲスト ; 岩淵 まこと 氏
- 3 . 集会の状況 ;

日 時	地 区	会 場	参加者
4月 7日(金)	福島地区	福島ヒルティ	110名
4月 8日(土)	会津地区	喜多方信愛キリスト教会	45名
4月 9日(日)	会津地区	会津聖書教会	40名
4月 9日(日)	会津地区	待望教会	55名
4月14日(金)	相双地区	原町福祉会館	48名
4月15日(土)	いわき地区	労働福祉会館	51名
4月16日(日)	白河地区	白河栄光教会	-名
4月16日(日)	郡山地区	郡山労働福祉会館	131名

- 4 . 会計報告 ; 次ページ参照

2006年ライフ・ラインの集い決算報告  
及び2007年予算案

収入の部；	2005 決算	2006 予算案	2006 決算	2007 予算案
教会献金	336,245	400,000	568,000	420,000
個人献金	0	30,000	13,000	20,000
会場献金	295,392	300,000	175,810	300,000
販売代金	56,400	60,000	65,000	60,000
その他	0	0	0	0
合計	688,037	790,000	822,410	800,000

支出の部；	2005 決算	2006 予算案	2006 決算	2007 予算案
講師費	200,000	300,000	300,000	300,000
事務通信費	17,240	20,000	11,850	15,000
交通費	14,000	20,000	7,0239	80,000
宣伝費	50,424	50,000	41,025	50,000
会場費	33,955	50,000	57,610	40,000
接待費	28,200	30,000	49,768	30,000
宿泊費	34,742	70,000	57,520	50,000
伝道ゼミ	0	-	-	-
書籍仕入費	120,000	120,000	85,120	90,000
雑費	7,279	5,000	21,785	5,000
予備費	0	25,000	0	20,000
一般会計へ	182,197	100,000	116,562	120,000
合計	688,037	790,000	822,410	800,000

# 2006年度委員会報告

## 第一回

- ・日時；5月16日(火)11：00～15：15
  - ・会場；福島聖書教会
  - ・出席者；葛西師、石黒師、木田師、熊田師、後藤師、大田尾師、船田師、  
金成師（8人）
- 1) 礼拝奨励；木田師（黙示録2：8～11）。
  - 2) 協 議； フォローアップ報告  
フォローアップ報告  
ライフ・ラインの集い報告  
会計報告  
今年度の委員の係り分担  
その他（フォローアップのあり方／ライフラインニュース巻頭言担当／他）

## 第二回

- ・日時；9月19日(火)11：00～14：30
  - ・会場；福島聖書教会
  - ・出席者；石黒師、木田師、熊田師、後藤師、大田尾師、船田師、金成師（7人）
- 1) 礼拝奨励；大田尾師（コリント9：14～23）
  - 2) 協 議； フォローアップ報告  
会計報告  
2007年度ライフラインの集いについて  
その他（フォローアップ係り／CM案内の再編について／他）

## 第三回

- ・日時；2007年1月23日(火)11：00～14：30
  - ・会場；郡山聖書バプテスト教会
  - ・出席者；石黒師、上森師、木田師、熊田師、後藤師、大田尾師、船田師、金成師（8人）
- 1) 礼拝奨励；大田尾師（コリント10：5～13）
  - 2) 協 議； 担当委員からの報告  
PBA制作部長、山本兄からのお話

フォローアップ報告

会計報告

総会について

その他(2007年度ライフラインの集いについて/新しいCM案/他)

**2006年度委員は以下の方々でした。**

大田尾達三	師(郡山地区)	石黒	實師(相双地区)
木田 恵嗣	師(福島地区)	葛西 清藏	師(相双地区)
船田 肖二	師(白河地区)	渡邊 多実樹	師(福島地区)
金成 孝悟	師(いわき地区)	上森 泰造	師(会津地区)
後藤 一子	師(会計担当)	熊田 和子	師(フォローアップ担当)
会計監査	久保 康昭 師	・	福井 文彦 師

## 年間視聴率一覧

放送日	ゲスト	タイトル	視聴率
1月7日	末富敦子	新しい年に	1.9
1月14日	高橋文子	希望の根	0.9
1月21日	丸屋真也	自分のイメージを高める方法	0.2
1月28日	クリスチャン陶器師合同展	陶器師なる創造主を語る	0.4
2月4日	埴葉子	柿の花	0.8
2月11日	稲見冬峰	紅茶とやすらぎ	0.5
2月18日	井上正己	ナルニア国物語	0.8
2月25日	イ・チソン	きょうも幸せです	2
3月4日	マコト・フジムラ / 泉ちぬ	パフォーマンスアート	0.9
3月11日	ワールド・ビジョン・ジャパン	子供たちに希望を	1.8
3月18日	神尾桂	音のない世界	1
3月25日	永見富久好	みんなの森	0.3
4月1日	堀肇	心の扉を開けて	0.7
4月8日	多和田悟	クイールを育てた訓練士	1.9
4月15日	イースター番組	復活を喜ぶ	1.3
4月22日	李仁夏	日本と韓国の狭間で	1.2
4月29日	大塚野百合	賛美歌物語	0.8
5月6日	檜原隆男	内なる美を求めて	0.4
5月13日	井野葉由美	導いてください	1.1
5月20日	大場浩人	破滅の果てに希望を	3.8
5月27日	澤谷由美子	おはなしのへや	1.5
6月3日	藤井浩	明日の朝また会いましょう	0.5
6月10日	ライフ・ラインの集い in 静岡	明日への希望	0.4
6月17日	日野原重明 / 星野富弘1	いのちを語る1	0.9
6月24日	日野原重明 / 星野富弘2	いのちを語る2	0.6
7月1日	田口誠弘1	熟年いきいき会	0.3
7月8日	田口誠弘2	企業戦士よ、定年退職後に戦死するな	0.9
7月15日	澤谷由美子2	お母さんのための絵本の旅	1.1
7月22日	松村俊夫 / 登世	主の山に備えあり	1.1

7月29日	ライフ・ラインの集い in 旭川	かけがえのないあなたを生きる	0.5
8月5日	森下辰衛	三浦綾子文学	1.3
8月12日	蜷川いづみ	泉のほとり	1
8月19日	ライフ・ラインの集い in 大津	愛に囲まれて	1.1
8月26日	長嶋潤	心をつなぐ音楽	0.9
9月2日	村上宣道	サマーキャンプ	0.6
9月9日	日野原重明 / 星野富弘	いのちを語る 3	0.3
9月16日	堀井英治 / 祥子	コパン	0.1
9月23日	渡辺タニヤ	人々をつなぐパッチワーク	0.3
9月30日	向谷地生良	べてるの家から吹く風	0.8
10月7日	森岡憲治	キリストの専属画家として	0.6
10月14日	船窪健	古楽器の音色に魅せられて	1.2
10月21日	田辺欧	読み継がれる童話アンデルセン	0.7
10月28日	一戸満	ホームレスから牧師へ	0.4
11月4日	相馬匡	夢を追い求める第二の人生	0.5
11月11日	ライフ・ラインの集い in 群馬	永遠を見つめる人生	0.6
11月18日	春風みお	平和を手渡す	0.6
11月25日	加藤信義	試練と希望	0.5
12月2日	星野隆三	アフガン難民に愛の手を	1
12月9日	J'sクラブ	たいせつなきみ	0.5
12月16日	相馬幸恵	贈り物	0.3
12月23日	稲垣俊也	クリスマス、キリストの近くに	0.8
12月30日	森祐理	神の愛を歌にのせて	1.3

年平均視聴率 ; 0.87%

福島放送エリア人口 2,090,011 人 / エリア世帯数 710,646 世帯 (2006.1.1.現在)

週平均視聴人口 ; 20,273 人 / 週平均視聴世帯数 ; 6,893 世帯

### 年間視聴率の移り変わり

年度	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
年間視聴率	0.795	0.819	1.192	0.883	0.967	0.866

## 2007年 事業計画(案)

☆ ライフ・ライン放映 福島放送テレビより 毎週土曜朝6時～6時30分

☆ 主な予定

1月23日(火) 委員会(前年度分) 会場:郡山聖書バプテスト教会

2月19日(火) 会計監査

3月6日(火) 総会 会場:郡山キリスト福音教会

3月13日(火) ライフ・ライン ニュース第60発行

5月22日(火) ライフ・ライン ニュース第61号発行

6月6日～10日 ライフ・ラインの集い 講師:安海 靖郎 師

音楽ゲスト:コパン

6月6日(水) 会津(会場未定)

6月7日(木) 白河栄光教会

6月8日(金) 郡山(会場未定)

6月9日(土) 福島ウェディングエルティ

6月10日(日) 礼拝:福島第一聖書バプテスト教会

午後:いわき労働福祉会館

6月25日(月) 委員会 会場:相馬キリスト福音教会

9月 委員会

9月18日(火) ライフ・ライン ニュース第62号発行

12月18日(火) ライフ・ライン ニュース第63号発行

2008年1月 委員会

## 2007年度予算編成の要点

1. なるべく、現実に即した数字を出してある。
2. 返済会計は、一年に10万円の返済を実行する予算を組んだ。
3. 一般会計への返済会計からの繰入は60万円とし、赤字の出ない会計編成にした。
4. PBAへの3ヶ月分の支払いの遅れについては、1月の委員会に同席された山本和明PBA制作部長より、三年間、支払いの遅れがなければ、PBAの経営努力により、福島県放送伝道を支える会に対して、1年につき1ヶ月分の割引を実施して下さるとの励ましを頂いた。(三年でPBAへの借金が帳消しになる)
5. 今年度は、教会CMの全面的な見直しを行い、写真と集会案内入りのCMに移行させたい。そのための費用として、宣伝費に、10万円を上乗せした。



# 2006年度決算報告・2007年度予算案

## 【テレビ】 収入

科目	2005年度決算	2006年度予算	2006年度決算	対前年比(%)	対予算比(%)	2007年度予算	
教会献金	3,420,623	3,600,000	3,097,262	91	86	3,200,000	対前年比103%
団体献金	1,310,000	1,300,000	1,410,000	108	108	1,400,000	対前年比 99%
個人献金	314,800	450,000	280,200	89	62	300,000	対前年比107%
教会CM料	1,220,000	1,545,000	1,537,200	126	99	1,632,000	29教会、1企業
ラリーより	182,197	150,000	118,662	65	79	120,000	
その他	23,300	31,000	25,430	109	82	60,000	
繰り入れ	100,000	100,000	150,000	150	150	600,000	
小計	6,570,920	7,176,000	6,618,754	101	92	7,312,000	
前年度繰越	523,523	87,456	87,456	17	100	18,425	
合計	7,094,443	7,263,456	6,706,210	95	92	7,330,425	

## 支出

科目	2005年度決算	2006年度予算	2006年度決算	対前年比(%)	対予算比(%)	2007年度予算	
電波料	5,479,665	5,652,204	5,181,187	95	92	5,652,204	471,017×12月
制作費	1,200,000	1,200,000	1,100,000	92	92	1,200,000	100,000×12月
プレゼント	73,333	50,000	49,345	67	99	50,000	
事務通信費	162,373	200,000	208,513	128	104	200,000	
宣伝費	0	10,000	54,400	-	544	110,000	新CM制作費を含む
会議費	41,040	50,000	50,400	123	101	50,000	
講座費	4,160	10,000	5,870	141	59	10,000	
その他	35,916	20,000	38,070	106	190	40,000	
予備費	10,500	71,252	0	0	0	18,221	
小計	7,006,987	7,263,456	6,687,785	95	92	7,330,425	
次年度繰越	87,456	0	18,425	-	-	0	
合計	7,094,443	7,263,456	6,706,210	95	92	7,330,425	

## 【ラジオ】 収入

科目	2005年度決算	2006年度予算	2006年度決算	対前年比(%)	対予算比(%)	2007年度予算
献金	275,700	270,000	267,100	97	99	270,000
その他	21	4	31	148	775	0
小計	275,721	270,004	267,131	97	99	270,000
前年度繰越	624,428	900,149	900,149	144	100	1,167,280
合計	900,149	1,170,153	1,167,280	130	100	1,437,280

## 【返済会計】 収入

科目	2005年度決算	2006年度予算	2006年度決算	対前年比(%)	対予算比(%)	2007年度予算
返済指定献金	73,000	80,000	149,000	204	186	150,000
パートナー献金	410,000	550,000	343,000	84	62	450,000
小計	483,000	630,000	492,000	102	78	630,000
繰越金	0	383,000	383,000	-	100	153,983
合計	483,000	1,013,000	875,000	181	86	783,983
当初赤字金額			-1,713,051			

## 支出

科目	2005年度決算	2006年度予算	2006年度決算	対前年比(%)	対予算比(%)	2007年度予算
返済	0	571,017	571,017	-	100	100,000
一般会計繰出	100,000	100,000	150,000	150	150	600,000
次期繰越	383,000	341,983	153,983	40	45	83,983
トータル赤字額	-1,330,051	-800,051	-1,559,068			-1,375,085

# 「福島県放送伝道を支える会」規約改正案

## 第1条 名 称

本会は「福島県放送伝道を支える会」と称する。

## 第2条 事 務 所

本会の事務所は委員長所属の教会に置く。

## 第3条 信仰的立場

旧新約66巻からなる聖書は、それぞれの著者が、神の靈感によって記したものであり、神が救いについて人々に啓示しようとされた一切の事を含み、信仰と生活との唯一の規範である。

## 第4条 目 的

本会は、「福島県における福音放送」によって、県内の伝道を推進することを目的とする。

## 第5条 事 業

本会は、第4条の目的遂行のため次の事業を行う。

- 1) 会員の募集と献金
- 2) 会員による祈りの力の結集、宣伝の強化、フォローアップの強化。
- 3) その他、必要な事業を行う。

## 第6条 会 員

本会の会員は、本会の信仰的立場、目的に同意するもので、定期的な献金（月額、年額）をもって、本会の事業を援助するものとする。会員は次の2種類とするが、議決権は（1）の会員のみとする。

- （1）協力教会（各個教会） （2）賛助会員（個人・団体）

## 第7条 総 会

本会の総会は年1回、協力会員の1/3以上の出席をもって行う。議決は出席会員の過半数の同意をもって行う。規則改正は2/3以上とする。

## 第8条 委 員 会

本会の実務は選任された各地区委員によって行う。任期は2年として再選を妨げない。ただし、委員長は2期までとする。

委員会は年1回以上開き、次の職務を分担する。

運営委員会として、委員長1名、書記1名、会計1名、フォローアップ係1名、その他・監査2名（地区委員外）を置く。

委員会は、その職務を補佐するための主事を委嘱することが出来る。

## 第9条 財 務

本会の費用は、献金の内からこれをまかなう。

その会計年度は、1月1日から12月31日までとする。

（2007年3月6日 一部改正）